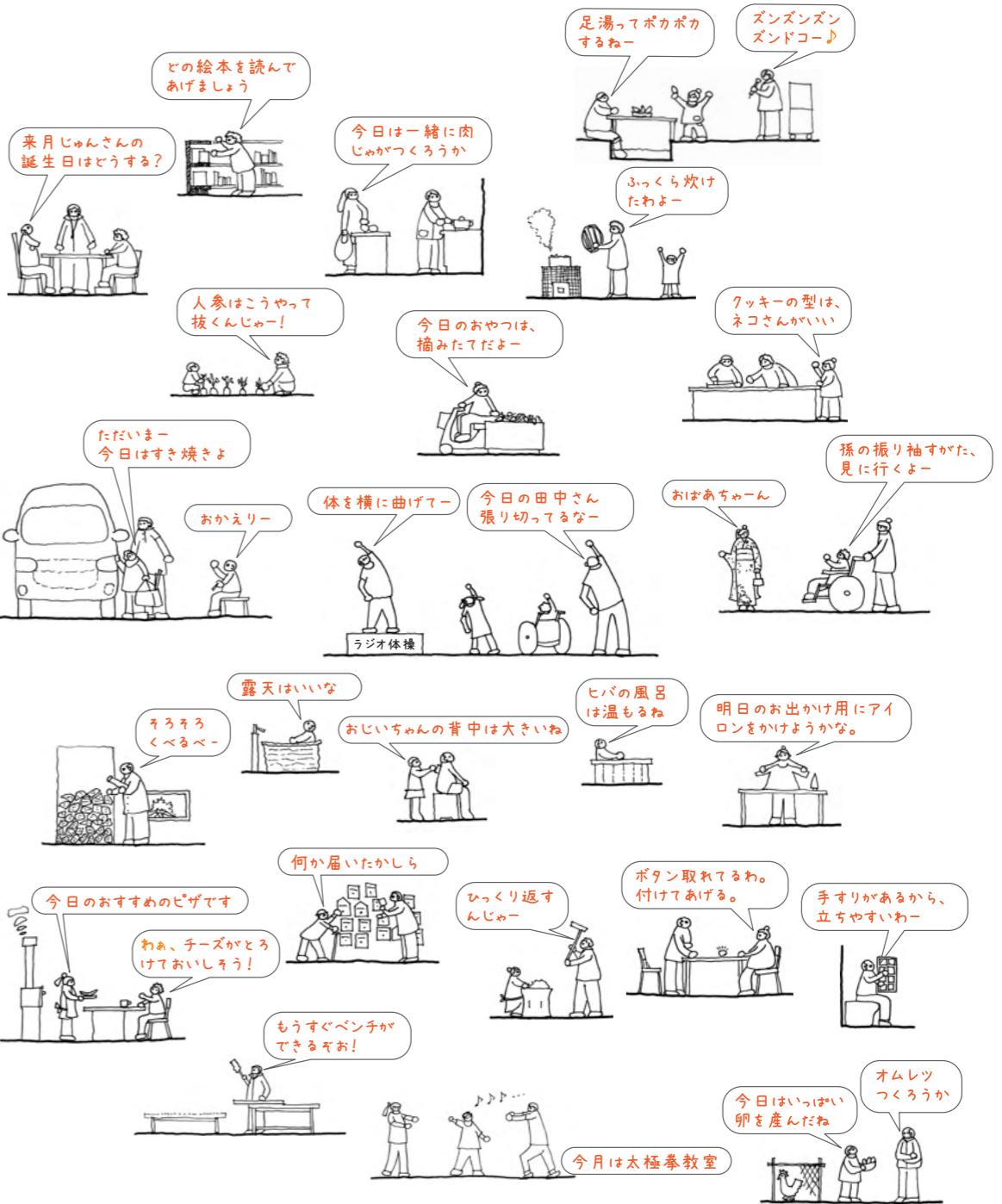


あたり前の暮らしのサポートセンター

地域で暮らし続けることを支える中規模多機能的な福祉施設



監修 ケア・プロデュース RX 組 (青山 幸広)
〒931-8301
富山県富山市水落 1-47-8
TEL 080-5854-3320
FAX 076-460-3321

わくわく
デザイン[®]

設計 合同会社わくわくデザイン
〒135-0048
東京都江東区門前仲町 1-2-8 GK ビル 2F
TEL 03-6875-2855
MAIL yagi@wkd.jp (担当:八木)

あたり前の暮らしを支える 13 のデザインパターン

13のデザインパターン

A 法制度 (01)

デイサービスとショートステイを組み合わせる中規模多機能的な福祉施設

- ◎ヘルパーステーション、特別養護老人ホーム、経費老人ホームと協力

B 地域 (01~04)

利用者だけでなく地域の人にとっても身近な施設となるように

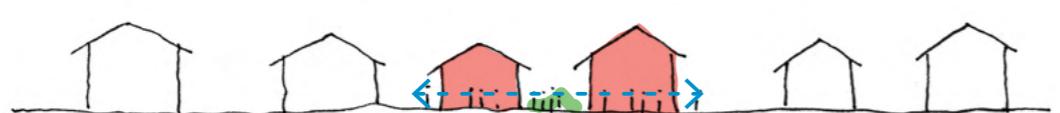
- ◎ネットワーク、行政、高校、区会、デザインの調和
- ◎山の維持、障がい者との連携



C 施設 (01~04)

地域に開かれた前庭を中心に、たくさんの交流、会話、活動が施設でおきるよう

- ◎農業と福祉の連携
- ◎食を中心に、祭り、ボランティア



D 個人 (01~04)

日々のあたり前の暮らしを支えて利用者がいきいき生き抜けるよう

- ◎多くの居場所、個浴、トイレ



A-01 デイサービス + ショートステイで中規模多機能的な福祉施設



- ◎機能の複合

高齢者になっても認知症になっても、そして障がいがあっても、その人らしく最後まで住み慣れた地域・自宅でいきいきと生き抜くことを支える拠点づくりを目指す。

渡り廊下で談話

B-01 地域の人々に入りこんでもらう



- ◎地域開放、介護セミナー、健康体操

オープンで気軽に利用できる施設を目指す。地域の人々が参加できる活動を継続的に行うことで、気がねない関係を築く。

B-02 地域の人々の居場所をつくる



- ◎コミュニティカフェ、障がい者が働くカフェ

就労継続支援 B 型事業所の作業場であるカフェは、地域の方が気楽に立寄り、子育てや介護の悩みなどを話す交流の場であったり、情報収集や発信の場にもなったりする。うたごえ喫茶、女子会等も行われる。

B-03 お互いさまのマッチング



- ◎皆でお味噌仕入れ、お裁縫、子連れ出勤

自分の特技を活かして、地域でお互いの困ったを助け合う。若いママは、経験豊富なお年寄りから野沢菜漬けなどの料理の知恵、子育ての知恵などを得ることができる。お年寄りにとっては子供の元気な姿を見られただけで心が弾む。

B-04 地域の人々も気軽に立ち寄りやすい雰囲気づくり



- ◎施設らしくない建物、地域の住宅と馴染む建物

手前に平屋群を配置し、周辺と近しいスケールの同じような色づかいの建物とすることで、親しみやすい雰囲気をつくっている。

小さなスケールで集落景観と調和

C-01 屋外活動の場を中心に全体を配置



◎前庭、野菜・果物づくり、散歩、BBQ

日あたり良く、四季を感じられる畑を中心に縁側、プールを出せる芝生、散歩できる道、いつでもBBQできるコーナーなどを設けた。車いすの方や支えの必要な方でも畑に行ける設え・段差処理とした。収穫後の野菜を洗いやすいように流し場や土間も設けた。

梅干しづくり

C-02 中と外のつながり



◎前庭、見守り、散歩、縁側、バリアフリー

前庭は地域とつながり、四季の移ろいを感じることができる。また、バリアフリーで内外の死角を減らし見守りやすくした。使いやすい屋外により気軽に屋外の空気を吸うことができ、気持ちのリフレッシュがしやすいつくりとした。

軒下で談話

C-03 わかりやすく楽しいつくりで気軽に参加を促す



◎前庭、屋内の居場所、小さなスケール

場所の特性が際立ち、アクティビティが発生しやすいようにした。キッチンは大きめで調理に参加しやすく、薪ストーブのラウンジはゆっくりできるように配慮し、静養コーナーは気軽に様子をうかがえるようにした。

キッチンで食事の調理

C-04 お腹も心も満たす食事の提供



◎キッチン、オープンな食堂

調理への参加、食を通じたコミュニケーションを大切にしている。利用者が主体的に調理しやすい高さ・程よい広さのキッチンカウンターで、利用者の手作り料理・郷土料理などに積極的に参加してくれる環境を整えた。

料理のお手伝い

D-01 できることを維持して自信を持って暮らしつづける



◎調理、片付け、洗濯、洗濯物干し

ご自身でできることは、できるだけしていただきたい。そうすることで自信を持ち、自分らしい暮らしを続けていただける。自宅では料理することが難しくても、施設では職員さんと一緒に料理ができる、気持ちが前向きになる。洗濯も手伝っていただいている。

D-02 その人らしく在宅でいきいき生き抜いてもらう



◎料理、ガーデニング、畑仕事、裁縫、ペット

料理が好きな方、畑仕事が好きな方、裁縫が好きな方、好きなことを好きなように楽しんでいただきたい。家で飼っている犬を連れて来ることができて、みんなのアイドルとなっている。飼い主の方も今までと同様に、犬と一緒にその人らしく暮らすことができている。

D-03 地域風土に根付いた知恵を伝える



◎味噌づくり、養蚕、小鮒の煮付け、祭り

豊かな人生経験を持つお年寄りが、暮らしに役立つ昔ながらの知恵を次世代に伝える役割を持つことで、日々の活力が生まれる仕組みとした。

D-04 各自が新しいことにチャレンジできる状況づくり



◎かまど、畑仕事、餅つき、子供の相手

それぞれの方が持っている興味・関心にチャレンジできる環境をつくることで、日常をわくわくとした豊かな暮らしにすることができる。

一年を通して行われる「あたり前の暮らし」

A 法制度、B 地域、C 施設、D 個人にわたって貫かれている「あたり前の暮らし」を支えるデザインパターンをもとに、年間を通して様々なイベントやアクティビティが行われ、中庭を介して地域の方々ともつながりをもつ。生き生きとした暮らしが、そのような環境の中で育まれている。

1月



豊作を祈ってまゆ玉づくり

2月



お雛様飾り

3月



薪割り

4月



ゲートポール

5月



草むしり

6月



竹の子の皮剥き



お裁縫



避難訓練

7月



カフェで女子会



梅干しづくり

8月



日々の畠仕事の賜物

9月



小鮎の煮付け

10月



干し柿づくり

11月



野沢菜漬け

12月



理事長の新そば打ち



門松づくり



新年に向けた餅つき